

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	公立大学法人 名古屋市立大学
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
工場等の名称	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
工場等の所在地	名古屋市千種区若水一丁目 2 番 2 3 号
業 種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公 表 期 間	令和6年7月25日 ～ 令和6年10月23日		
公 表 方 法	○	掲 示 閲 覧	（場 所） 名古屋市立東部医療センター 管理課前
		ホ ー ム ペ ー ジ	（HPアドレス）
		冊 子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-721-7171		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

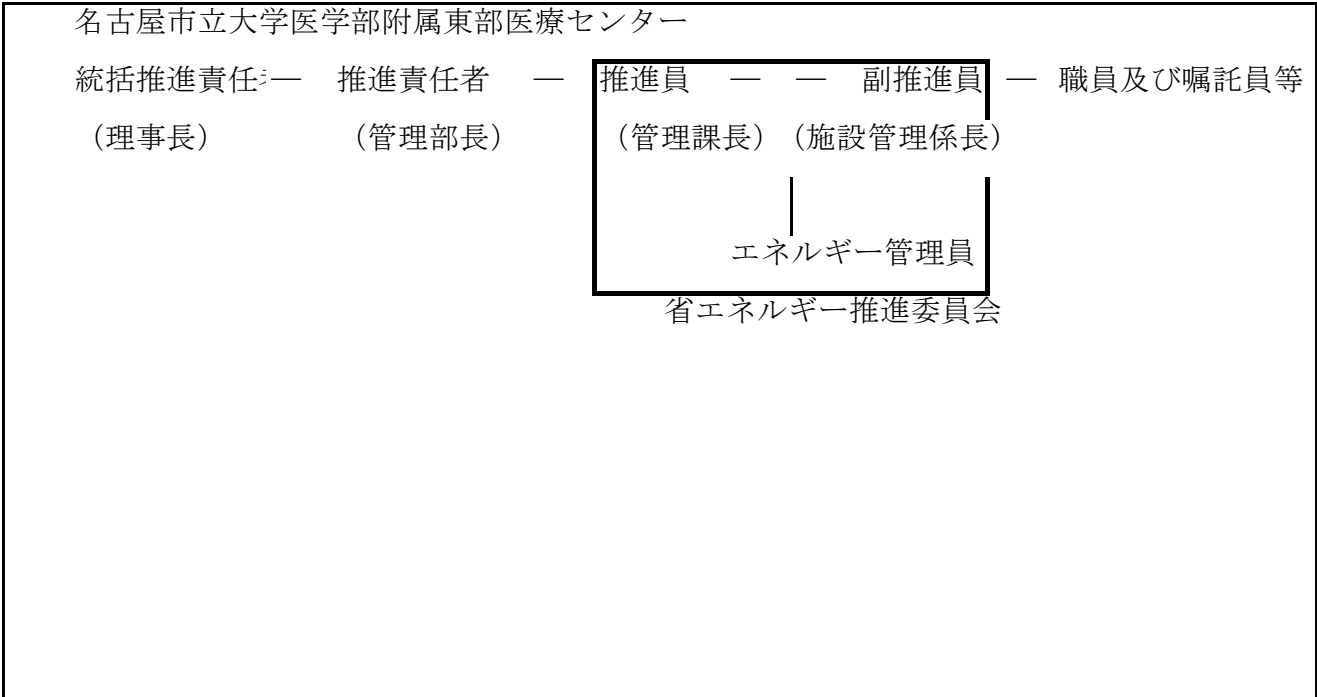
(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

1. 外来・入院患者の診察・療養に支障がない範囲で省エネルギーを進め、空調の適正化を図ります。

2. 人が常時いない部屋・通路は消灯し、O A機器を利用しないときはスタンバイや電源オフをし、節電に努めます。

3. 廃棄物の発生を抑制し、分別を徹底してリサイクルを推進します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,792	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	5,792	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
温室効果ガス 総 排 出 量	6,571	t-CO ₂	6,374	t-CO ₂	6,599	t-CO ₂	6,403	t-CO ₂	5,792	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 0.4	%	2.6	%	11.9	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
原単位あたりの 排 出 量	0.1235	t-CO ₂ / m ³	0.1198	t-CO ₂ / m ³	0.124	t-CO ₂ / m ³	0.1203	t-CO ₂ / m ³	0.1495	t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 0.4	%	2.6	%	▲ 21.1	%
原単位あたりの みなし排出量						t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

温暖化対策の結果、排出量は抑制できていた。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	入院・外来患者の療養環境に支障をきたさない範囲で冷暖房を控えて運転する。不使用室の空調停止や事務室におけるクールビズの推奨	中間期に一度、クールビズや不使用室の空調停止を告知する	冷暖房を控えて運転できた
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	パソコンを長時間使用しないときは、省電力機能等の活用を行う。退勤時は電源オフを徹底する。コピー機は待機時に自動で省エネモードになるように設定し、退勤時には電源オフを徹底する。	省エネモードを使用するよう、配布パソコンに設定することや、その周知を行う	省エネモードの活用はできていた。
省エネルギー・省資源の行動の実践・省エネ	使用しない部屋や廊下は消灯を徹底する。	電灯の一括管理で消灯時間を設定する	土日や休診時間は消灯できていた。
廃棄物の排出抑制等	オフィス古紙・紙製の梱包材等の分別を徹底し、リサイクルをする。また、生ゴミは飼料等にリサイクルし、可燃ごみの抑制を図る。	ゴミ排出の抑制に関する告知を出す	分別はおおむねよくできていた。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量(みなしの削減量)の合計

	t-CO ₂
--	-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

ポンプトラップ等の更新を行うことでガスの使用量を削減する

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

古紙等の分別によるリサイクル推進やパソコンの省エネモード活用など、環境保全に対する意識付けを定期的に行っていく。